

みずほCustomer Desk Report 2023/02/01 号(As of 2023/01/31)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	130.45	1.0851	141.54	1.2355	0.7057
SYD-NY High	130.54	1.0875	141.55	1.2369	0.7065
SYD-NY Low	129.75	1.0802	140.77	1.2285	0.6984
NY 5:00 PM	130.11	1.0861	141.43	1.2317	0.7054

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,086.04	368.95	日本2年債	▲0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	11,584.55	190.74	日本10年債	0.4900%	0.0200%
S&P	4,076.60	58.83	米国2年債	4.2042%	▲0.0350%
日経平均	27,327.11	▲ 106.29	米国5年債	3.6180%	▲0.0467%
TOPIX	1,975.27	▲ 7.13	米国10年債	3.5087%	▲0.0325%
シカゴ日経先物	27,525.00	80.00	独10年債	2.2785%	▲0.0295%
ロンドンFT	7,771.70	▲ 13.17	英10年債	3.3295%	▲0.0045%
DAX	15,128.27	2.19	豪10年債	3.5290%	▲0.0400%
ハンセン指数	21,842.33	▲ 227.40	USDJPY 1M Vol	13.01%	0.01%
上海総合	3,255.67	▲ 13.65	USDJPY 3M Vol	13.65%	0.99%
NY金	1,945.30	6.10	USDJPY 6M Vol	12.31%	0.09%
WTI	78.87	0.97	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	278.09	3.66	EURJPY 3M Vol	12.19%	▲0.04%
ドルインデックス	102.10	▲ 0.18	EURJPY 6M Vol	12.09%	▲0.01%

東京	東京時間のドル円は130.45レベルでオープン。月末フローにかかるドル売りが優勢になり、130.07まで下落。午後に入り、日本銀行による5年物の共通担保オペが実施され、堅調な入札が確認されるも特段材料視されず、やや値を戻すと130.24レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、130.24レベルでオープン。今週のFOMCを控え方向感のない推移。立ち上がり130.05まで売られる場面もあったが程なく切り返すと結局130.40レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0839レベルでオープン。ユーロ圏第4四半期GDPの発表を控えユーロ売りが先行。1.0802まで低下するが、同GDPがマイナス成長に反しプラス成長となると買い戻され、1.0825レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではFOMCを翌日に控え、ドル円は月末のフローが中心の値動きとなり、130.40レベルでNYオープン。朝方は米第4四半期雇用コスト指数(EOI)が予想を下回ったことから、インフレ鈍化が意識され、ドル売りに129.81まで下落する。その後も1月シカゴPMIが予想を下回り、続いて発表の1月消費者信頼感指数も予想を下回ったことから129.75まで下落する。しかし消費者信頼感指数の内容をみると、職に就くのが困難と回答している人は2ヵ月連続で低下しており、一旦低下した金利が上昇する展開に130.20まで戻す。午後は、一旦130.35まで戻す局面もあったが終盤に掛けては明日のFOMCを控え調整からじり安で推移し、130.11レベルでクロスした。一方、ユーロドルはFOMC、ECB理事会を控え調整の動きが続き1.0802まで下落するが、このレベルでは買い意欲もあり、第4四半期ユーロ圏GDPが予想を上回ったこともあり1.0825レベルでNYオープン。朝方は米EOI結果を受けたドル売りに1.0864まで戻すが、その後はドルが買い戻される展開に1.0833まで下落する。午後は明日のFOMCを控え米金利が低下する中ドル売りが強まり、1.0875まで戻し、1.0861レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行から無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:永野・西

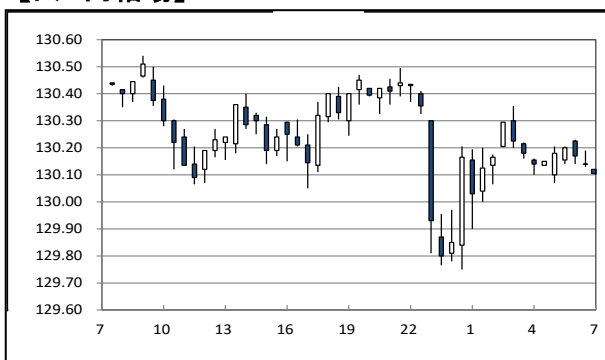
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	08:30	日 失業率	12月 2.5%	2.5%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -3.9%	-0.2%
	10:30	中 製造業/非製造業PMI	1月 50.1/54.4	50.1/52.0
	16:00	独 小売売上高(前月比)	12月 -5.3%	-0.2%
	16:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.4%/6.0%	0.5%/6.1%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	4Q A 0.1%/1.9%	-0.1%/1.7%
2月1日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	1月 107.1	109.0

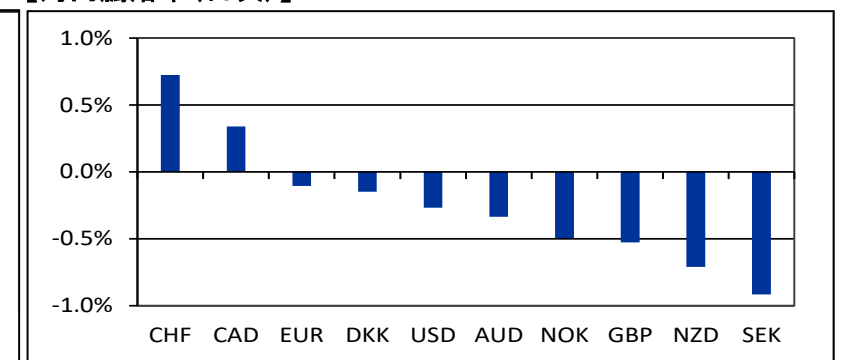
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	19:00	欧 失業率	12月 6.5%	6.5%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.1%/8.9%	-0.4%/9.2%
	19:00	欧 コアCPI・速報	1月 5.1%	5.2%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 180k	235k
2月2日	00:00	米 ISM製造業景況指数	1月 48.0	48.4
	04:00	米 FOMC政策金利	1-Feb 4.50-4.75%	4.25-4.50%
	04:30	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.00-131.50	1.0800-1.0950	140.50-142.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は引き続き130円を挟んでの推移。アジア・欧州時間帯はFOMCを控えて動意の薄い展開。米州時間に入ると、2022年第4四半期の雇用コストが1.0%と3四半期連続低下、インフレの低下を示す内容となったことからドル売りが優勢となり、ドル/円は一時130円を割れて129.75まで下落。しかし、本日のFOMCを控えて方向感はなく、その後の米経済指標が弱い結果となるも買戻しが入り、130円台を回復。130.11で引けた。本日のドル/円は、FOMC声明文およびパウエル議長の会見内容待ちとなろう。今回は0.25%利上げと利上げペースの縮小が予想されているが、昨今の弱い米経済指標、および直近のインフレ・雇用指数の低下を受け、今までのタカ派姿勢に変化があるのかに注目が集まっている。ただ、インフレ・雇用指数低下といっても、依然高い状況であり、タカ派姿勢維持でドル/円はじりじりと上昇すると予想される。